

#0027

Produced by KATOKI HAJIME

GUNDAM FIX FIGURATION

#0027

RX-79BD-1ブルーディスティニーは試作MSであり、ジオン公国のフナガガン機関に所属していたクルストモーゼス博士が遠征に赴く際に持ち出した「EXAM」と呼ばれる特殊なMSシステムが搭載されていた。当初はRGM-79(G) 陸戦型ジムをベースとしていたが目標値を達成できなかったため、システムを搭載するヘッドユニット以外はRX-79(G) 陸戦型ガンダムのもので変更された。しかし、試験機の中で左足を断と認識したまま交戦するという最悪の暴走事故を引き起こしてしまう。機体色から「BD=ブルーディスティニー」と呼ばれていたが、事故後は「悪い死神」と恐れられるようになる。その後、通常のジムで同様の暴走を止めたユウ・カジマ少尉が操縦し、「モルモット部隊」と称される「第11独立機体化遠征部隊」所属となった。U.C.0079年12月初旬より展開されたキャリフォルニアベース交戦機のみで、公認軍のEXAM搭載機MS-08TX[EXAM] イフリート改と交戦。戦死したとされてしまった。

RX-79BD-2 ブルーディスティニー2号機は、1号機からの仕様変更を受けた改良型であり、当初よりRX-79(G) 陸戦型ガンダムを基本とし、ヘッドユニットも同機のものベースに使用されている。1号機を喪失した第11独立機体化遠征部隊に再配備される予定で交戦機運用も実装されていたとのことである。ところが、調整中に基地が公認軍に襲撃され、奪取された後ニムバス・シュターゼン大尉の乗機となって同部隊の前に立ちふさがった。その後、両機は赤く塗り替えられていた。ちなみに、BD2号機には暴走を防ぐリミッターが取り付けられておらず、闘うには非常ではない精神力と注意を必要とする。

RX-79BD-1 GUNDAM BLUE DESTINY UNIT 1

ASSIGNMENT: EARTH FEDERATION FORCES
 MODEL NUMBER: RX-79BD-1
 HEIGHT: 18.5m HEAD HEIGHT: 18.5m
 WEIGHT: 52.8t FULLY EQUIPPED WEIGHT: 73.8t
 GENERATOR OUTPUT: _____
 PROPULSION ROCKET THRUSTERS: _____
 MATERIAL: LUNAR TITANIUM ALLOY
 SENSOR RANGE: _____
 SPECIAL EQUIPMENT: EXAM SYSTEM
 ARMAMENTS:
 VULCAN GUN
 CHEST MISSILE
 MACHINE GUN
 BEAM SABER
 100mm MACHINE GUN
 SHIELD



ブルーディスティニー1号機からブルーディスティニー2号機へ換装可能。

RX-79BD-2 GUNDAM BLUE DESTINY UNIT 2

ASSIGNMENT: EARTH FEDERATION FORCES
 MODEL NUMBER: RX-79BD-2
 HEIGHT: 18.5m HEAD HEIGHT: 18.5m
 WEIGHT: 52.8t FULLY EQUIPPED WEIGHT: 73.8t
 GENERATOR OUTPUT: _____
 PROPULSION ROCKET THRUSTERS: _____
 MATERIAL: LUNAR TITANIUM ALLOY
 SENSOR RANGE: _____
 PILOT: NIBBUS SCHTZER
 SPECIAL EQUIPMENT: EXAM SYSTEM
 ARMAMENTS: VULCAN GUN
 CHEST MISSILE
 MACHINE GUN
 BEAM SABER
 BEAM RIFLE
 SHIELD



ジオンマークの入った赤い腕パーツが付属。

DESIGN&DIRECTION Katoki Hajime

MODELING Ichizawa Takayuki PHOTOGRAPH Takase Yuji (Takase Photo Office)
 FINISHING Matsumoto Takashi EXPLANATION Wakabe Toshihiro (SHINDOSHIA)
 MARKING Kamei Yuji (Jani) INSTRUCTION Takahashi Masahito
 COMMERCIAL DESIGN Ueda Daisuke (DABAND)



ブルーディスティニーは1000年に発売されたゲームソフト「戦場のブルー」に登場するゲームオリジナルのMSで、大河原邦男氏によるデザインです。RX-79というガンダム的な形式番号が与えられてはいますが、その構造はガンダムというよりジム機です。外観も当初はソウイングアイもアンテナも無く、ガンダムらしくないカラーリングも施されています。このゲームソフトが発売された当時の機体は、次世代ゲーム機とよばれる新型のハードでメーカーが思い合っていた話もある時代で、ハードのスペックも今の約30アクションが再現され始めた頃でした。そうした中で作られ、本格的なサイドストーリーを持つガンダムの外伝に登場したブルーディスティニーは、10年近く経った現在でも多くのファンに記憶に残っているようです。

デザイナー・カトキハジメ